

通信・放送・測位分野について

平成 18 年 8 月 25 日
宇宙開発委員会事務局

技術の成熟度、将来的な発展性、利用側のニーズ等を踏まえると、今後、通信・放送・測位分野において想定される研究開発・利用としては以下のようなものが挙げられる。

(1) 衛星測位システムの補完・補強

- ・ 準天頂衛星初号機の打上げ・運用・利用実証
- ・ 準天頂衛星システムによる高精度測位実験

(2) 災害対策・危機管理としての衛星通信技術の利用

- ・ 災害発生時における情報伝達の高度化（住民への警戒情報、災害対策機関に対しての情報提供、災害対策機関間の情報共有）
- ・ 災害発生時の危機管理としての衛星通信システムの検討（耐災害性の高い通信インフラとしての衛星通信技術利用に関する検討）
- ・ 映像等の大容量の災害情報を即時又は迅速に伝送する通信技術の開発
- ・ 災害監視衛星の機動性・即時性を保障するためのデータ中継衛星の仕様検討・開発

(3) 衛星による通信・放送サービスの高度化

- ・ 小型軽量衛星端末による大容量かつ高速な移動体通信技術の開発
- ・ 将来的な通信需要に対応するための新規通信技術の開発・利用実証（ミリ波通信、光通信等）
- ・ 超高精細映像を可能とする新規衛星放送技術の開発
- ・ セキュアかつ大容量通信を可能とする量子宇宙通信技術の開発